

## 中学生サミットでの取組みについて

## 1 概要

平成28年7月2日、茗台中学校において第44回中学生サミット連絡会を開催し、「18歳選挙権について」をテーマに取り上げた。

## 2 内容

## ①18歳選挙権の標語作成

『そうだ、選挙に行こう』に決定。

## ②中学生の私たちにできること

茗台中学校 ・今から、意識を高めるための呼びかけをする →ポスターを作る ・選挙の仕組みに関心を持てる機会を作る ・選挙や日本、世界の情勢などを学ぶ ・各学校で模擬選挙や意識調査を行う	第一中学校 ・ニュースや新聞を見て選挙権への意識を高める。 ・生徒会で模擬演説会をする。 ・模擬選挙をする。
第三中学校 ・選挙をどのようなものが何のためにするかをよく知る。 ・生徒会役員選挙などで実際の選挙と同じものを使用する。(3中実施。) ・呼びかけのポスターをつくる。	第六中学校 ・選挙に対する意識を高める。 ・日頃から自分の意見を持ち、他人と話すことで考える材料をたくわえる。 ・歴史に学ぶ。 つまり、①他人と話す ②勉強する
第八中学校 ・呼びかけをする。 →ポスターを描く	第九中学校 ・中学生のころから政治に関心を持ち、考えること。
第十中学校 ・今から18歳で選挙をできるように、社会について詳しく知る。 ・立候補者や政党について、新聞やテレビなどで知る。 ・中高生のための選挙に関する講習会に参加する。 ・責任が生じると思うので、より広い視野で社会を見て、日本のこれからの対する意識を高める。	文林中学校 ・新しく選挙権をもった兄弟姉妹に呼びかける。 ・選挙について興味をもち、本やコンピューターを使って知る。 ・ニュースや時事問題に興味をもつ。 ・親についていき、選挙の雰囲気を知る。 ・イベントで行っている模擬選挙に行く。または、校内で行ってもよいと思う。
本郷台中学校 ・世の中の動きをよく観察する。 ・メディアの情報を見たとき、自分の考えをもち、家族や友達と話し合う。 ・18歳になったとき誰になれば自分の街が良くなるのか、日本が良くなるのか少しでも知識を入れておく。 ・身近な18歳～20歳の人に話を聞く。 ・選挙会場に足を運ぶ。	音羽中学校 ・若い人たちを狙って、安易な公約をうちだす可能性があり、政治が乱れるので、理解がないまま投票に行かない。 ・ニュースを見て政治を学ぶ。 ・新聞を見たり、スクラップを行う。 ・社会の授業をしっかりと受ける。 ・模擬選挙を行う。 ・選挙権がある家族などに、選挙に行くことを呼びかける。 ・家族で選挙について話し合う。

※中学生サミット連絡会・・・文京区青少年委員会が実施。全文京区立中学校の生徒会が参加し、各校の特色や独自の取組みに関する情報交換を行い、各生徒会の活動を活性化させて自主性を育てること、区立中学校の生徒の親睦を図ることを目的としている。